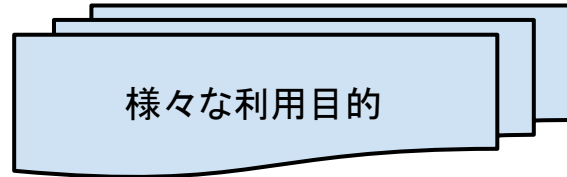


吉原構成員配付資料

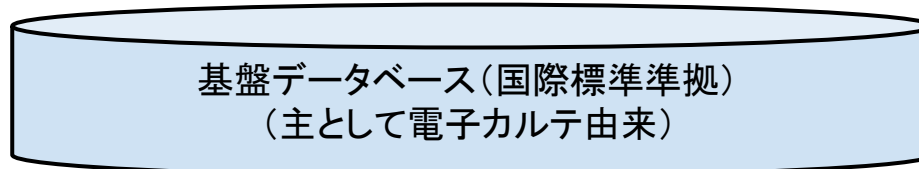
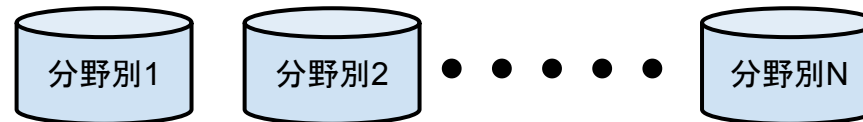
メディカルデータ基盤の概念(メモ)

重要課題

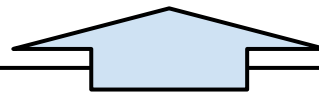
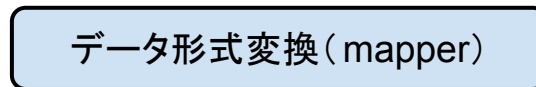
ユースケース
(サービス)



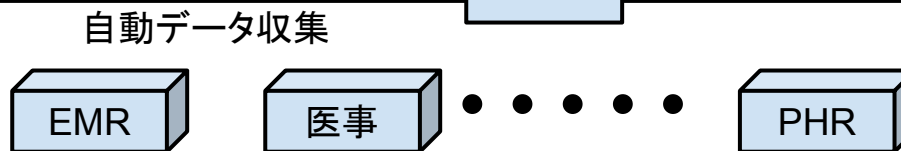
データベース



多様な形式をサポート
(運用障壁の低減)



データソース



電子カルテ、医事システム、PHR系データ等

- 1) 国民健康IDの確立
- 2) 全ての医療データ*の構造化
(利活用への必須条件)
- 3) データ保存交換規格の国際対応
(国際協調・競争力の担保)
(ISO13606準拠)
- 4) データの共通化
(相互可用性の担保)
(数値データの変換基準)
- 5) 事業の継続性
(運営主体・方法)
(情報活用のルール)
- 6) 匿名化基準の明確化(法律等)

* 構造化データ(例)

基本情報、保険、病名、生活習慣、家族歴・ワクチン歴、初診時記録、経過記録、処方、検査結果、処置、手術記録、入院時サマリ、週間サマリ、退院時サマリ、紹介状、各種報告書、医事データ(重複)、介護記録、バイタルサイン